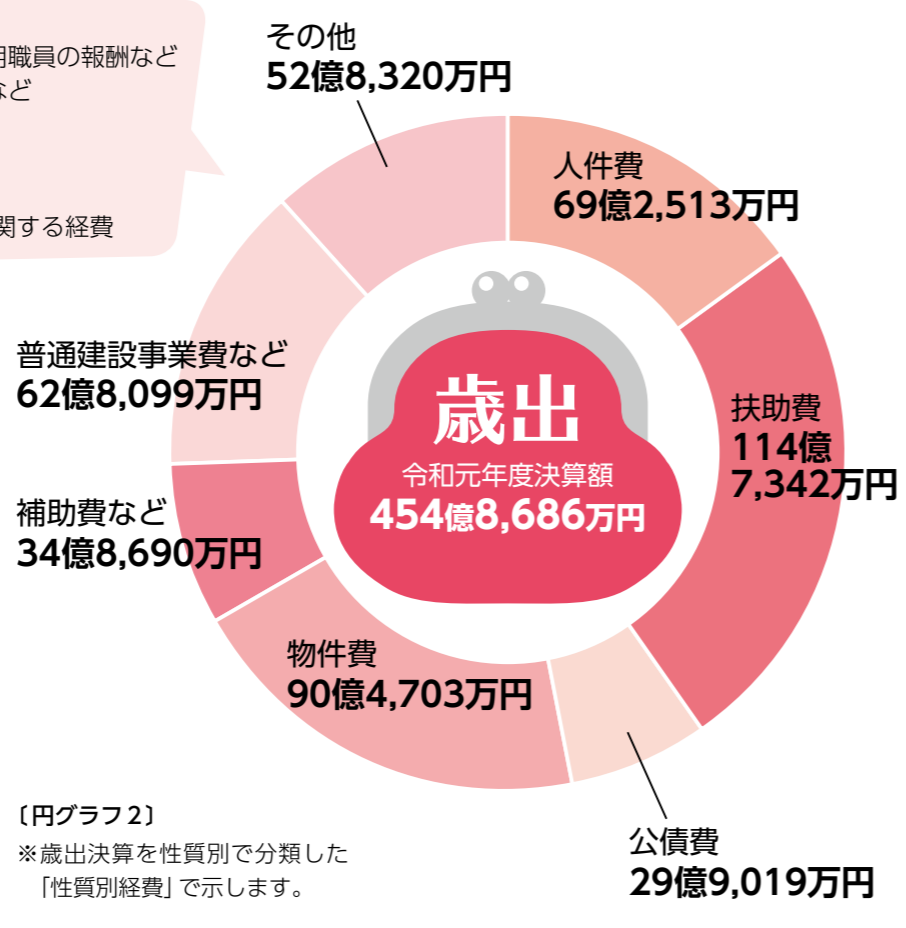
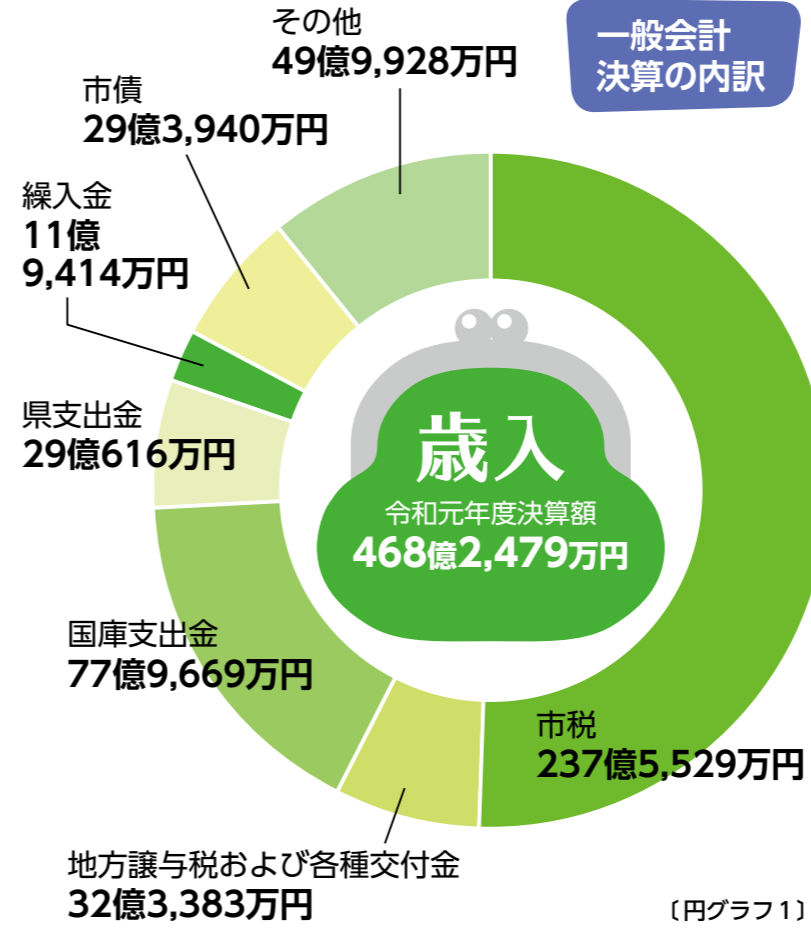


海老名市の財政状況

企画財政課 ☎(235)8453

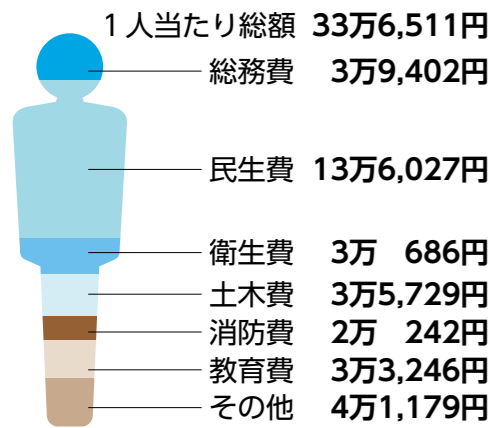
令和元年度一般会計の決算を中心に、市民の皆さんが納めた税金の使い道をお知らせします。

一般会計 決算の内訳



用語説明
 人件費…市長や市職員の給与、議員や会計年度任用職員の報酬など
 扶助費…障がい者や高齢者への支援、生活保護費など
 公債費…市の借金である市債の返済に充てる経費
 物件費…消耗品、業務委託料など
 補助費…各種団体への補助金など
 普通建設事業費…道路などの整備や建物の建設に関する経費

市民1人当たりの歳出決算額(目的別経費)



※歳出予算を行政目的で分類し、住民基本台帳の令和2年3月31日現在の人口13万5,172人で算出しています。

決算額

収支の管理は、「一般会計」「特別会計」と「企業会計」に分かれています。「一般会計」は基本的な行政運営の経費を賄うもの、「特別会計」は独自の収入があるもの、「企業会計」は地方公営企業法の適用により企業会計方式で事業を運営するものです。



会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	468億2,478万9,292円	454億8,686万3,974円
特別会計	223億7,399万4,576円	215億772万1,853円
国民健康保険事業	121億7,395万6,967円	121億2,424万2,302円
介護保険事業	84億8,534万4,339円	77億1,183万7,966円
後期高齢者医療事業	17億1,469万3,270円	16億7,164万1,585円
企業会計	40億7,598万4,218円	46億8,399万1,866円
公共下水道事業	40億7,598万4,218円	46億8,399万1,866円
合計	732億7,476万8,086円	716億7,857万7,693円

一般会計決算の概要

歳入は468億2479万円(円グラフ1)、歳出は454億8686万円(円グラフ2)となり、歳入・歳出ともに前年度を上回りました。

歳入は、海老名駅を中心としたマンション建設が進んだことなどで、8年連続市税収入が増加したことや、前年度をはるかに上回るふるさと納税の寄付などにより、過去最大規模となりました。

歳出は、社会福祉費や児童福祉費の増加に伴い、扶助費が7年連続で増加しました。ふるさと納税関係事

業やプレミアム付商品券発行事業などにより、物件費や補助費なども増加しました。

市民1人当たりの基金・市債の残高は良好です。政令市を除く16市の中で基金残高は6番目に多い4万7884円、市債の残高は企業会計分を含めて29万7851円とも少ない金額です。

なお実質収支は、歳入歳出決算額の差額13億3793万円のうち、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた10億6918万円となりました。

健全化判断比率などの概要

市の財政状況の算定は、財政健全化法に基づき、「健全化判断比率」と「資金不足比率」によって行います。財政健全化法では、「早期健全化基準」と「経営健全化基準」を超える、「財政健全化団体」と判断されます。

令和元年度の本市の「健全化判断比率」「資金不足比率」はいずれも基準を大きく下回り、財政状況は問題なしと判断されました。

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-(赤字なし)	12.08%
連結実質赤字比率	-(赤字なし)	17.08%
実質公債費比率	1.8%	25.0%
将来負担比率	28.6%	350.0%

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	-(資金不足なし)	20.0%